

# 日本大気電気学会第101回研究発表会 プログラム



日程： 2023年 1月6日（金）、7日（土）  
 会場： 電気通信大学 80周年記念会館 3階（フォーラム）  
 連絡先： 芳原 容英（電気通信大学） Tel: 042-443-5154  
 E-mail: hobara@ee.uec.ac.jp

## 日 程 表

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1月6日 （金）			第100回記念 講演会	昼食		第100回記念特別講演会		休 憩	ポスター セッション P1			
1月7日 （土）	口頭 セッション S1	休 憩	ポスター セッション P2	昼食	総会	口頭セッ ション S2	口頭セ ッショ ンS3					

注：発表者は○印で示されています。

第1日 1月6日(金):

「日本大気電気学会第100回研究会記念講演会」 [10:00-12:00]

座長 芳原容英 (電通大)

10:00 開会の辞・日本大気電気学会会長挨拶  
長門研吉 (高知工業高等専門学校)

10:05 記念講演1: 早川正士 (電気通信大学名誉教授、株式会社早川地震電磁気研究所  
代表取締役)  
電磁雑音との永い付き合い

10:40 記念講演2: 道本光一郎 (元防衛大学校教授)  
冬季雷研究の思い出

11:15 記念講演3: 河崎善一郎 (大阪大学名誉教授)  
雷放電研究40年

---

昼食 11:50-13:00

---

日本大気電気学会第100回研究会記念特別講演会 [13:00-14:30]

「日本における大気電気学研究及び将来展望1」

座長 長門研吉 (高知高専)

13:00 特別講演1: 三浦和彦 (東京理科大学嘱託教授、富士山環境研究センター  
シニアリサーチフェロー)  
大気電気学会と私 ―イオン・エアロゾルを測って40年―

13:30 特別講演2: 小林文明 (防衛大学校地球海洋学科教授)  
雲物理からレーダー気象学 ―どこまで雲を掴めるようになったか―

14:00 特別講演3: 服部克巳 (千葉大学大学院理学研究院/環境リモートセンシング研究  
センター教授)  
大気電気学と地震電磁気現象

---

休憩 14:30-15:00

---

「日本における大気電気学研究及び将来展望 2」 [15:00-16:00]

座長 鈴木智幸 (静岡県大)

15:00 特別講演 4: 牛尾知雄 (大阪大学工学研究科教授)

大気電気に関する今後の 2, 3 の展望

15:30 特別講演 5: 王道洪 (岐阜大学工学部教授)

北陸における冬季雷観測の近況と展望

---

休憩 16:00-16:30

---

ポスターセッション P1 [16:30-18:00]

座長 吉田智 (気象研)

P1-1 ○Yuan Wei (M2), Chie Yoshino, Katsumi Hattori (Chiba Univ.)

An Experimental Study on Monitoring Groundwater Flow in an Indoor Sandbox Based on Self-potential Method

P1-2 ○宮下志保 (M2), 芳原容英, 菊池博史 (電通大)

トータル雷および気象データの機械学習を用いた国内突風現象の発生予測に関する研究

P1-3 ○馬場直人 (M1), 菊池博史, 芳原容英 (電通大), 牛尾知雄 (阪大)

気象用二重偏波フェーズドアレイ気象レーダと地上雨量計による降雨強度推定の高度化

P1-4 ○飯田智之 (日本大学), 山崎政彦 (日本大学), 鴨川仁 (静岡県立大)

DEMETER 衛星の軌道上データを用いた地震規模と雷放電由来のシグナル強度変化の関係について

P1-5 ○渡辺真子 (M2), 芳原容英, 菊池博史 (電通大)

地震直前後の大気電界変動の統計調査

P1-6 ○北出明嗣 (M1), 金子柊, 吉野千恵, 服部克巳 (千葉大)

ひまわり AHI データを用いた 2018 年新燃岳の火山活動に関する研究

- P1-7 ○太田悠一郎 (B4), 吉野千恵, 三浦健伸, 服部克巳 (千葉大), 今住則之  
(日本技術士会)  
容量性円形平板アンテナによる地震前 LF 帯電磁放射の観測
- P1-8 ○三須孝一郎 (M1), 芳原容英, 渡辺真子, 菊池博史 (電通大)  
地震直前後の大気電界と下部電離層擾乱に関する研究
- P1-9 ○清水紘平 (M1), 中田裕之 (千葉大), 細川敬祐 (電通大), 大矢浩代 (千葉大)  
HF ドップラー観測を用いた地震に伴う異なる経路で伝搬した電離圏擾乱の解析
- P1-10 ○鴨川仁 (静岡県大), 財城真寿美 (成蹊大), 林修吾 (気象研), 松本淳 (都立大)  
古日記記録と気象庁観測に基づく東京と金沢における雷日数の経年的増加について
- P1-11 ○源泰拓 (富士山測候所を活用する会), 鴨川仁 (静岡県大), 門倉昭 (極地研),  
田中良昌 (極地研), 佐藤光輝 (北大)  
オーロラサブストーム発生時の大気電場 (第2報)
- P1-12 ○池田昭大 (鹿児島高専), 魚住禎司, 吉川顕正 (九大), 藤本晶子 (九工大),  
阿部修司 (九大)  
太陽フレア発生時のシューマン共鳴の特性
- P1-13 ○安本勝, 土器屋由紀子 (富士山環境研究センター), 鴨川仁 (静岡県大),  
佐々木一哉 (弘前大)  
富士山の雷現象観測から見えるリーダの特徴

## 第2日 1月7日(土):

口頭セッション S1 [9:00-10:00]

座長 菊池博史 (電通大)

9:00 S1-1 ○岩下久人 (明星電気), 小林文明 (防大地球), 諸富和臣, 嶋村重治 (日本無線), 樋口篤志, 大矢浩代, 鷹野敏明, 高村民雄 (千葉大)  
POTEKA 利用の突風予測技術の精度検証報告

9:20 S1-2 ○佐藤陽祐, 本田匠 (北大), 林修吾, 梶野瑞王 (気象研), 吉川栄一 (JAXA), 和田龍一 (帝京科学大)  
気象雷モデルの開発とその応用の概要

9:40 S1-3 ○藤原博伸 (富士山環境研・早大), 大河内博, 三原直之 (早大), 鴨川仁 (静岡県大)  
都市型局地的豪雨の雷活動と水化学分析について~2021年と2022年の事例解析

---

休憩 10:00-10:30

---

ポスターセッション P2 [10:30-12:00]

座長 鈴木智幸 (静岡県大)

P2-1 ○佐藤駿 (M2), 中田裕之, 大矢浩代 (千葉大), 穂積 Kornyant (NICT), 斎藤享 (ENRI)  
HF-START プロジェクトにおける HF 帯電波伝搬の減衰の評価

P2-2 ○入江俊行 (M1), 安藤芳晃 (電通大)  
VLF 帯大地-電離圏導波管伝搬の日変化パターンを用いた静穏時の電離圏下部電子密度の同定

P2-3 ○榎本陸登 (B4), 中田裕之 (千葉大), 細川敬祐 (電通大), Song Rui, 服部克己, 大矢浩代 (千葉大)  
HF ドップラー観測を用いた 2019 年台風 15 号時の同心円状の電離圏擾乱の解析

- P2-4 ○内山新太 (M2), 森本健志 (近畿大)  
Ku 帯広帯域レーダの Z-R 関係における雨滴定数の高度変化
- P2-5 ○Junchen Yang (D2), Daohong Wang, Haitao Huang, Ting Wu,  
Nobuyuki Takaki (Gifu Univ.), Kazuo Yamamoto (Chubu Univ.)  
Performance and validation of an interferometer-type 3D lightning mapping array
- P2-6 ○鹿倉周太郎 (M1), 菊池博史, 芳原容英 (電通大), 吉川栄一 (JAXA), 中村佳敬  
(神戸高専), 森本健志 (近畿大), 牛尾知雄 (阪大)  
気象用二重偏波フェーズドアレイ気象レーダと LF 帯雷放電標定装置を用いた雲  
内粒子と放電過程の時系列変化
- P2-7 ○森本健志 (近畿大), 工藤剛史 (音羽電機), 王道洪 (岐阜大), 山本和男  
(中部大), 鳥居建男 (福島大), 河崎善一郎 (阪大), Mohd Riduan Ahmad (UTeM),  
Ammar Nasser Al Kahtani (UNITEN)  
持続可能なエネルギー供給と極端気象災害の早期警報のための電荷分布リアルタ  
イム 3D イメージングと雷活動予測 ～マレーシア SATREPS プロジェクト～
- P2-8 ○永尾伸吾 (M1), 芳原容英, 菊池博史 (電通大), 大橋拓彦, 白石智規  
(東京電力パワーグリッド), 吉川栄一 (JAXA), 中村佳敬 (神戸高専), 森本健志  
(近畿大), 牛尾知雄 (阪大)  
大電荷量落雷を発生させた雷撃と気象学的特性の調査
- P2-9 ○濱島岳 (B4), 山本真行, 西川泰弘 (高知工科大)  
小型ループアンテナとインフラサウンドによる雷の位置推定
- P2-10 ○熊本真理子 (地磁気観測所)  
短時間強雨発生時の雷雲構造と大気電場の変化
- P2-11 ○鴨川仁 (静岡県), 藤原博伸, 源泰拓 (富士山環境研究センター),  
児玉哲哉 (JAXA), 長尾年恭 (静岡県)  
柿岡・地磁気観測所における水滴集電器データとフィールドミルデータの比較に  
ついて

---

昼食 12:00-13:00

総会 13:00-14:00

---

口頭セッション S2 [14:20-15:20]

座長 吉田智 (気象研)

14:20 S2-1 ○丸山雅人 (NTT), 王道洪 (岐阜大), 枘田俊久, 長尾篤, 池田高志 (NTT), 上田稔, 高田尚弥, 大橋秀樹, 黄海涛, ウ ティン, 高木伸之 (岐阜大)  
ドローンからの導線投下による人工誘雷

14:40 S2-2 ○田尻貴浩, 清水雅仁 (中部電力), 三木恵 (電中研), 森本健志 (近畿大)  
岐阜県東濃エリアにおける高速ビデオと VHF 帯広帯域干渉計を用いた雷観測

15:00 S2-3 ○ウティン, 王道洪, 高木伸之 (岐阜大)  
正極性帰還雷撃の強さについて

---

休憩 15:20-15:40

---

口頭セッション S3 [15:40-16:40]

座長 工藤 剛史 (音羽電機)

15:40 S3-1 ○和田有希 (阪大), 森本健志 (近畿大), 中村佳敬 (神戸高専), 榎戸輝揚 (京大), 菊池博史 (電通大), 吉川栄一 (JAXA), 牛尾知雄 (阪大)  
北陸冬季雷での地球ガンマ線フラッシュの多波長観測

16:00 S3-2 ○鳥居建男 (福島大), 杉田武志 (SSL), 佐々木明 (QST)  
放電路の進展にもたらす高エネルギー放射線の影響

16:20 S3-3 ○山下幸三 (小松大), 藤坂浩史 (藤坂技術事務所), 岩崎博之 (群馬大)  
地上静電界の多点計測に基づいた雷雲電荷推定(ダイポール電荷モデルの適用)

## ■ 講演者へのお願いとご案内

- (1) 口頭発表1件の発表時間は20分としました。発表15分、質疑応答5分で御発表下さい。時間超過のないようご協力お願いいたします。
- (2) ポスター発表は、セッション当日指定の場所にポスターをお貼りください。ポスターボードのサイズは（縦 210 cm、幅 90 cm）です。ポスターセッション終了後は速やかに撤去をお願いいたします。
- (3) 大気電気学会誌 講演要旨原稿はホームページへアップロードして下さい。  
講演者は「大気電気学会誌」の講演要旨の原稿（1頁ないし2頁）のワードファイルとPDFファイルをホームページへアップロードして下さい。
  1. 締め切り：令和5年 2月3日（金）
  2. フォーマットは学会ホームページ（<https://www.saej.jp/entry/journal101.html>）からダウンロードしてください
- (4) 学生発表表彰の審査には講演要旨原稿も含まれます。学生発表表彰を申し込んだ学生は、締め切りまでに必ず原稿を当学会ホームページへアップロードしてください。締め切りまでに投稿されない場合は、審査対象となりませんのでご注意ください。

本年度の研究発表会では、懇親会について検討を重ねて参りましたが、残念ながらコロナ感染の拡大防止のため、見送ることになりました。楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

**会場：** 電気通信大学 80 周年記念会館 3 階(フォーラム)

◎京王線 調布駅下車 中央口より徒歩 5 分

徒歩の道順は下記のサイトで確認してください。

<https://www.uec.ac.jp/facilities/exchange/80th/access.html>



## 賛助会員名簿 (五十音順)

現在までに入会されている賛助会員は下記の通りです。本会への賛助に対し、深く感謝申し上げます。本会では賛助のご好意にお応えするため、「大気電気学会誌」に広告を無料掲載することとしております。広報担当運営委員 (Email: journal@saej.jp) までお申し込み下さい。

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 種子島宇宙センター  
株式会社応用気象エンジニアリング  
音羽電機工業株式会社  
バスタ技研株式会社  
株式会社フランクリン・ジャパン  
明星電気株式会社